

「新潟の塔」除幕式 改修実行委員会会長挨拶

本日ここに、「新潟の塔」除幕式・慰霊祭を執り行うにあたり、花角新潟県知事、玉城沖縄県知事はじめ多くのご来賓にご臨席を賜りました。公私共にご多忙のところ誠にありがとうございます。実行委員会を代表しまして心より深く御礼申し上げます。

本年は戦後 80 年、昭和 100 年、そして「新潟の塔」建立から 50 年という歴史の節目にあたる大事な年であります。

この度は、関係各社、各種団体、遺族会、新潟県の皆様の温かいご支援とご協力によりまして、長年風雨にさらされておりました慰霊の中心となってきました「新潟の塔」と、合わせまして地図入りの碑文を改修することができました。心より感謝申し上げます。

「新潟の塔」は南方各地の島々で熾烈な戦いにおいて、本土にいる家族国民を守らんがために命をかけて散華された 4 万 1 千余柱を祀る事で戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝える大切な祈りの塔であります。

この改修は、まさに県民の皆様の平和への願いと、戦場に散った全ての御魂を思う多くの方々の思いが結実した証であると思います。誠に感慨深く感謝の念に心が熱くなり、あらためて平和の大切さを感じるところであります。

思い返せば、新潟県産の安田石で作られた「新潟の塔」を、遠く糸満市摩文仁の丘まで運ぶために、新潟から大阪までトラックで運び、そして船に積み替えて沖縄まで運んだ当時の苦労と情熱が思い出され、胸に迫るものがあります。

こうして 50 年という時を経て改修に携わる事となったのも何か深いご縁というものを感じております。

この平和公園が平和を願うすべての人々の心のよりどころとなるよう、私たち一人ひとりが平和の尊さを胸に刻み、次の世代へと繋いでまいりたいと思います。

本日の式典、並びに除幕式が平和の誓いを新たな機会となりますことを心より祈念いたしまして、除幕式の挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

令和 7 年 11 月 17 日

新潟の塔改修実行委員会

会長 石井 修